

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年9月27日
【四半期会計期間】	第45期第2四半期（自平成25年5月21日至平成25年8月20日）
【会社名】	アーランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長（COO）兼 管理本部長 坂本 雅俊
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長 兼 経理部長 栗林 利行
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長 兼 経理部長 栗林 利行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期 連結累計期間	第45期 第2四半期 連結累計期間	第44期
会計期間	自平成24年 2月21日 至平成24年 8月20日	自平成25年 2月21日 至平成25年 8月20日	自平成24年 2月21日 至平成25年 2月20日
売上高(百万円)	49,187	49,937	97,084
経常利益(百万円)	5,106	5,037	8,935
四半期(当期)純利益(百万円)	2,787	2,916	4,568
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,966	3,111	4,921
純資産額(百万円)	43,239	47,572	44,890
総資産額(百万円)	64,332	67,414	64,909
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	137.46	143.81	225.24
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.7	67.8	66.5
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,078	3,775	4,336
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,514	1,023	3,703
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,792	2,145	1,257
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	2,448	2,660	2,053

回次	第44期 第2四半期 連結会計期間	第45期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 5月21日 至平成24年 8月20日	自平成25年 5月21日 至平成25年 8月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	69.47	74.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策への期待などにより円安株高が進行し、景気回復の兆しが見られたものの、実体経済は厳しく、雇用情勢や個人消費の低迷が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は499億37百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は46億62百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益は50億37百万円（前年同期比1.3%減）、四半期純利益については、法人税率の変更もあり、29億16百万円（前年同期比4.6%増）と増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

< 小売事業 >

ホームセンター部門の売上高は343億13百万円（前年同期比0.3%増）となりました。昨年オープンした新店2店舗、5月にオープンしたムサシプロ安茂里店及び7月にオープンしたホームセンタームサシ新井店が寄与したためであります。一方、既存店の売上高は春先の低温や東北、北陸地方で長引いた梅雨により、前年同期比5.0%減となりました。

その他小売部門の売上高は29億77百万円（前年同期比13.3%減）となりました。1月にムサシ食品館長岡店を閉店したことによるものです。

その結果、小売事業の売上高は372億90百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は25億8百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

< 卸売事業 >

全国のホームセンター既存店売上高が低迷する中で、新規取引先の開拓等に努めた結果、卸売事業の売上高は43億60百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は5億63百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

< 外食事業 >

外食事業は、主力のどんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比8店舗増加等、積極的な事業展開により、売上高は69億72百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は10億43百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

< 不動産事業 >

不動産事業の売上高は13億14百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は5億33百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して25億5百万円増加し、674億14百万円となりました。前連結会計年度末の閑散期に比べ繁忙期となるため、流動資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して1億76百万円減少し、198億41百万円となりました。有利子負債の減少、支払手形及び買掛金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して26億82百万円増加し、475億72百万円となりました。四半期純利益により、利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して6億7百万円増加し、26億60百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、37億75百万円(前年同期は30億78百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益49億15百万円、法人税等の支払額19億89百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、10億23百万円(前年同期は15億14百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、21億45百万円(前年同期は17億92百万円の使用)となりました。これは主に有利子負債の減少によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年9月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,690,843	20,690,843	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	20,690,843	20,690,843	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年5月21日～ 平成25年8月20日	-	20,690,843	-	6,462	-	6,601

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
有限会社武蔵	新潟県三条市塚野目2丁目13番30号	2,418	11.68
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,466	7.08
アークランドサカモト取引先持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アークランドサカモト(株)内	1,083	5.23
坂本 勝司	新潟県三条市	899	4.34
坂本 洋司	新潟県三条市	826	3.99
坂本 晴彦	新潟県三条市	677	3.27
アークランドサカモト従業員持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アークランドサカモト(株)内	676	3.27
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	643	3.11
株式会社第四銀行	新潟県新潟市中央区東堀前通7番町 1071番地1	401	1.93
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オム ニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4丁目16番13号)	355	1.71
計	-	9,449	45.66

- (注) 1. 上記信託銀行の所有株式数は信託業務に係る株式であります。
 2. 上記のほか、自己株式が410千株あります。
 3. 野村證券株式会社及びその共同保有者であるNOMURA INTERNATIONAL PLC及び野村アセットマネジメント株式会社から、平成25年8月7日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成25年7月31日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株式等の数 (株)	株式等保有割合 (%)
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋1丁目 9番1号	株式 9,991	0.05
NOMURA INTERNATIONAL PLC	1 Angel Lane, London EC4R 3AB, United Kingdom	株式 18,767	0.09
野村アセットマネジメント 株式会社	東京都中央区日本橋1丁目 12番1号	株式 1,054,200	5.10

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 410,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,268,900	202,689	-
単元未満株式	普通株式 11,243	-	-
発行済株式総数	20,690,843	-	-
総株主の議決権	-	202,689	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	410,700	-	410,700	1.98
計	-	410,700	-	410,700	1.98

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年5月21日から平成25年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,053	2,660
受取手形及び売掛金	2,620	2,912
商品及び製品	11,117	12,425
その他	1,602	1,745
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	17,389	19,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,667	27,781
土地	8,380	8,380
その他(純額)	1,494	1,611
有形固定資産合計	37,543	37,773
無形固定資産	1,938	1,919
投資その他の資産		
投資有価証券	973	1,025
敷金及び保証金	5,765	5,717
その他	1,431	1,370
貸倒引当金	132	132
投資その他の資産合計	8,037	7,980
固定資産合計	47,519	47,674
資産合計	64,909	67,414
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,030	5,464
短期借入金	5,900	4,200
1年内返済予定の長期借入金	40	-
未払法人税等	2,027	1,795
賞与引当金	224	277
その他	2,444	2,991
流動負債合計	14,667	14,729
固定負債		
長期預り保証金	3,299	3,302
退職給付引当金	279	278
役員退職慰労引当金	423	182
資産除去債務	1,109	1,135
その他	237	213
固定負債合計	5,350	5,112
負債合計	20,018	19,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	30,697	33,235
自己株式	638	638
株主資本合計	43,125	45,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	14
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	13	14
少数株主持分	1,751	1,895
純資産合計	44,890	47,572
負債純資産合計	64,909	67,414

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
売上高	49,187	49,937
売上原価	31,772	32,114
売上総利益	17,414	17,822
販売費及び一般管理費	12,661	13,159
営業利益	4,753	4,662
営業外収益		
受取利息	12	13
仕入割引	157	170
持分法による投資利益	48	68
その他	145	132
営業外収益合計	363	384
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	2	2
営業外費用合計	11	9
経常利益	5,106	5,037
特別利益		
固定資産受贈益	-	5
受取和解金	54	-
その他	-	0
特別利益合計	54	5
特別損失		
固定資産売却損	-	12
固定資産除却損	57	36
店舗閉鎖損失	11	41
減損損失	17	-
解体撤去費用	43	34
その他	7	2
特別損失合計	138	127
税金等調整前四半期純利益	5,022	4,915
法人税、住民税及び事業税	2,033	1,760
法人税等調整額	19	45
法人税等合計	2,052	1,805
少数株主損益調整前四半期純利益	2,969	3,110
少数株主利益	181	193
四半期純利益	2,787	2,916

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,969	3,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	2	0
四半期包括利益	2,966	3,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,784	2,917
少数株主に係る四半期包括利益	181	193

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2月21日 至 平成24年 8月20日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2月21日 至 平成25年 8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,022	4,915
減価償却費	1,168	1,174
のれん償却額	1	-
受取利息及び受取配当金	14	15
支払利息	8	6
売上債権の増減額 (は増加)	272	291
たな卸資産の増減額 (は増加)	378	1,314
仕入債務の増減額 (は減少)	560	1,433
その他	826	208
小計	5,268	5,700
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	7	5
和解金の受取額	-	66
法人税等の支払額	2,185	1,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,078	3,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,321	1,273
無形固定資産の取得による支出	13	10
敷金及び保証金の差入による支出	211	171
敷金及び保証金の回収による収入	191	222
その他	158	208
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,514	1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	1,480	1,700
長期借入金の返済による支出	43	40
配当金の支払額	304	365
少数株主への配当金の支払額	36	43
その他	71	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,792	2,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	229	607
現金及び現金同等物の期首残高	2,677	2,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,448	2,660

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
給与・賞与・雑給	4,825百万円	5,029百万円
賞与引当金繰入額	275	277
退職給付費用	10	11

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月10日 定時株主総会	普通株式	304	15.00	平成24年2月20日	平成24年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 取締役会	普通株式	304	15.00	平成24年8月20日	平成24年10月16日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 定時株主総会	普通株式	365	18.00	平成25年2月20日	平成25年5月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月24日 取締役会	普通株式	365	18.00	平成25年8月20日	平成25年10月16日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	37,635	4,104	6,144	1,302	49,187	-	49,187
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	6,395	-	586	6,986	6,986	-
計	37,640	10,500	6,144	1,888	56,173	6,986	49,187
セグメント利益	2,569	655	975	538	4,739	14	4,753

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	37,290	4,360	6,972	1,314	49,937	-	49,937
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	6,346	-	584	6,930	6,930	-
計	37,290	10,706	6,972	1,898	56,867	6,930	49,937
セグメント利益	2,508	563	1,043	533	4,648	13	4,662

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	137円46銭	143円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,787	2,916
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,787	2,916
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,280	20,280

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年9月24日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 365百万円
- (ロ) 1株当たりの金額 18円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年10月16日

(注) 平成25年8月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月27日

アーランドサカモト株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 真美 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中村 明彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年5月21日から平成25年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成25年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。